



投資家向け会社説明会

石光商事株式会社

証券コード: 2750

東京証券取引所スタンダード



I 会社概要

II 中期経営計画SHINE2027について

III 株主還元について

I

会社概要

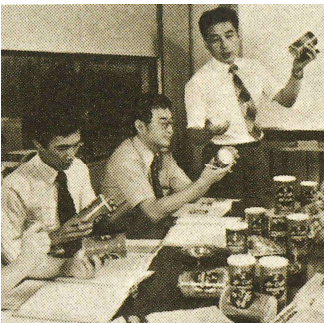
II

中期経営計画SHINE2027について

III

株主還元について

ISHIMITSU GROUP HISTORY



1906



1906

創業



ロサンゼルスにて創業

現地の日系移民に
日本食を届けるため

創業者
故 石光 季男が
単身渡米

1906

創業者



1910年（明治43年）
撮影 ロサンゼルス

ロサンゼルスにて創業

現地の日系移民に
日本食を届けるため

創業者
故 **石光 季男** が
単身渡米

1922

本店を神戸に移転



日本で**コ**ーヒー商売を開始

国際貿易の一大拠点**神**戸に

石光**季**男商店の
本店を構える。

1951

株式会社 設立



戦後、貿易再開とともに
輸入食料品の取り扱いを再開
個人商店から資本金100万円の

株式会社
石光季男商店へと

組織を一新し再出発

1963

社名変更



石光商事株式会社
S. ISHIMITSU & CO., LTD.

SIは創業者のイニシャル
「SUEO ISHIMITSU」

社名変更と時期を同じくして
主な得意先である
コーヒー卸売業者様が扱う
他商品に着目し
食品部門へ参入

1995

阪神・淡路大震災



震災からの復興

本社に隣接する
物流センターが**倒壊**するなど
甚大な被害を受けながらも

業務の長期滞りを防ぎ
迅速な復旧へと舵を切った。

2002

JASDAQ市場に上場
初値 440円



——重要な**転機**——

JASDAQ市場上場により
資本金増強、事業拡大
、知名度向上へ貢献

創業120周年

2026



これからもみなさまの
食を支え、

世界の食の幸せに
貢献します

ISHIMITSU GROUP HISTORY

連結子会社 **5** 社

海外関連会社 **1** 社

計 6社のうち、**4**社が**海外**拠点

グループ従業員数 **476**名

うち、海外拠点 **48**名
(2026年3月時点)



ISHIMITSU GROUP HISTORY

1972 設立

東京アライドコーヒーロースターズ(株)

1973 設立

関西アライドコーヒーロースターズ(株)

2024 合併

社名は アライドコーヒーロースターズ(株)

コーヒー焙煎量 国内3位の実績
2027年3月には、兵庫県小野市に新工場設立



ISHIMITSU GROUP HISTORY

1972 設立 東京アライドコーヒーロースターズ(株)

1999 コーヒー生豆の小分け業者
ユーエスフーズ(株) を子会社化



えがお for ザ プラネット
目標売上キロ数に応じ社会に還元いたします。
生産者から消費者までサステナブルな笑顔を作る

ISHIMITSU GROUP HISTORY

1999 コーヒー生豆の小分け業者 ユーエスフーズ(株)を子会社化

2012 中国 上海市に100%子会社設立 石光商貿(上海)有限公司



中国でコーヒーを中心とした輸入販売を手掛けています。中国のコーヒー市場は発展が著しい、一方で競争も激化。

ISHIMITSU GROUP HISTORY

2012 中国 上海市に100%子会社の設立 石光商貿(上海)有限公司

2013 タイ王国 子会社設立
THAI ISHIMITSU CO.,LTD.

タイ王国を中心にコーヒー・茶類原料の輸入販売を行っています。現地での抹茶ブームもあり抹茶の販売にも注力

ISHIMITSU GROUP HISTORY

2013 タイ王国 子会社の設立 THAI ISHIMITSU CO.,LTD.

2019

インドに包装工場を保有した子会社設立
A.Tosh Ishimitsu Beverages India Private Limited



世界最大の紅茶生産国であるインドにティーバッグ
包装工場を保有し、インドの豊富な資源と日本の技
術を融合させた製品を日本及び海外市場に展開

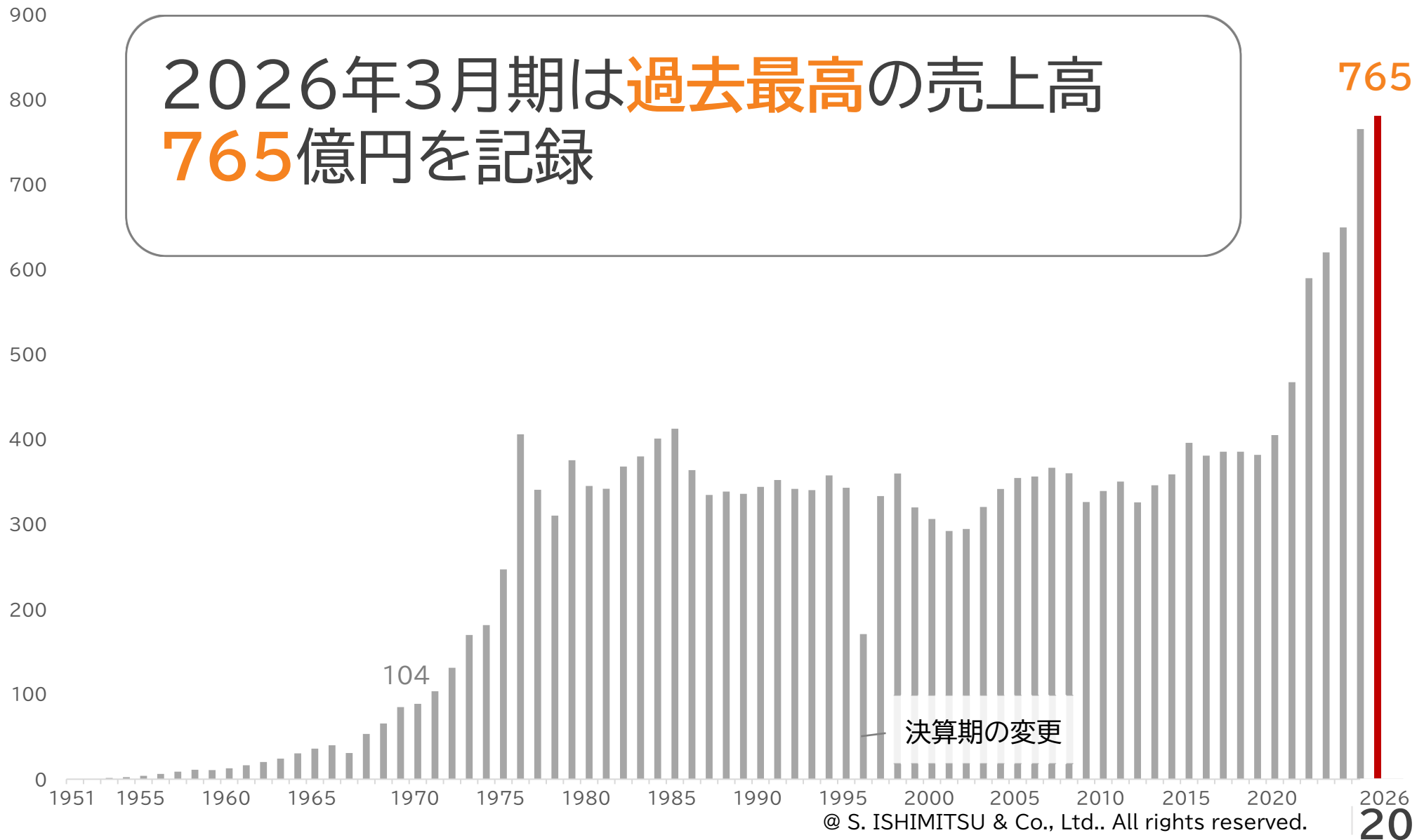
ISHIMITSU GROUP HISTORY

2019 インドに包装工場を保有した子会社の設立 A.Tosh Ishimitsu Beverages India Private Limited

2023 英国に持分法適用会社 設立
Atariya-Ishimitsu UK Limited

英国において日本食材や水産物の卸事業を展開しています。主に、マグロやサーモンを加工し、ロンドンの高級レストランを中心に供給しています。

億円



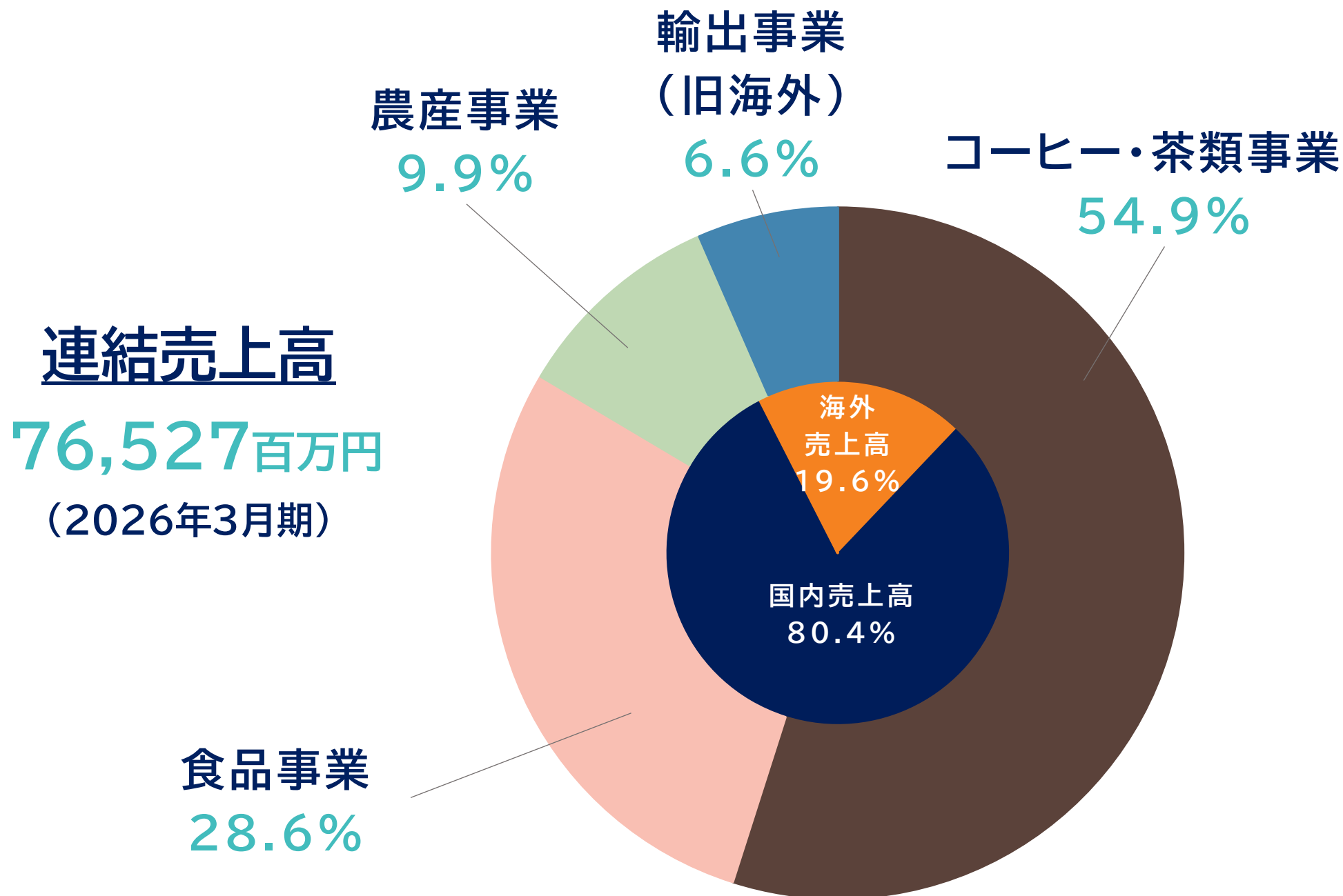
コーヒー・茶類事業…コーヒー生豆、紅茶、コーヒー製品

食品事業…フルーツ・野菜缶詰、パスタ、オリーブオイル、冷凍ポテト
エビ・イカ・タコ等の水産品、ローストチキンや唐揚げ用の鶏肉

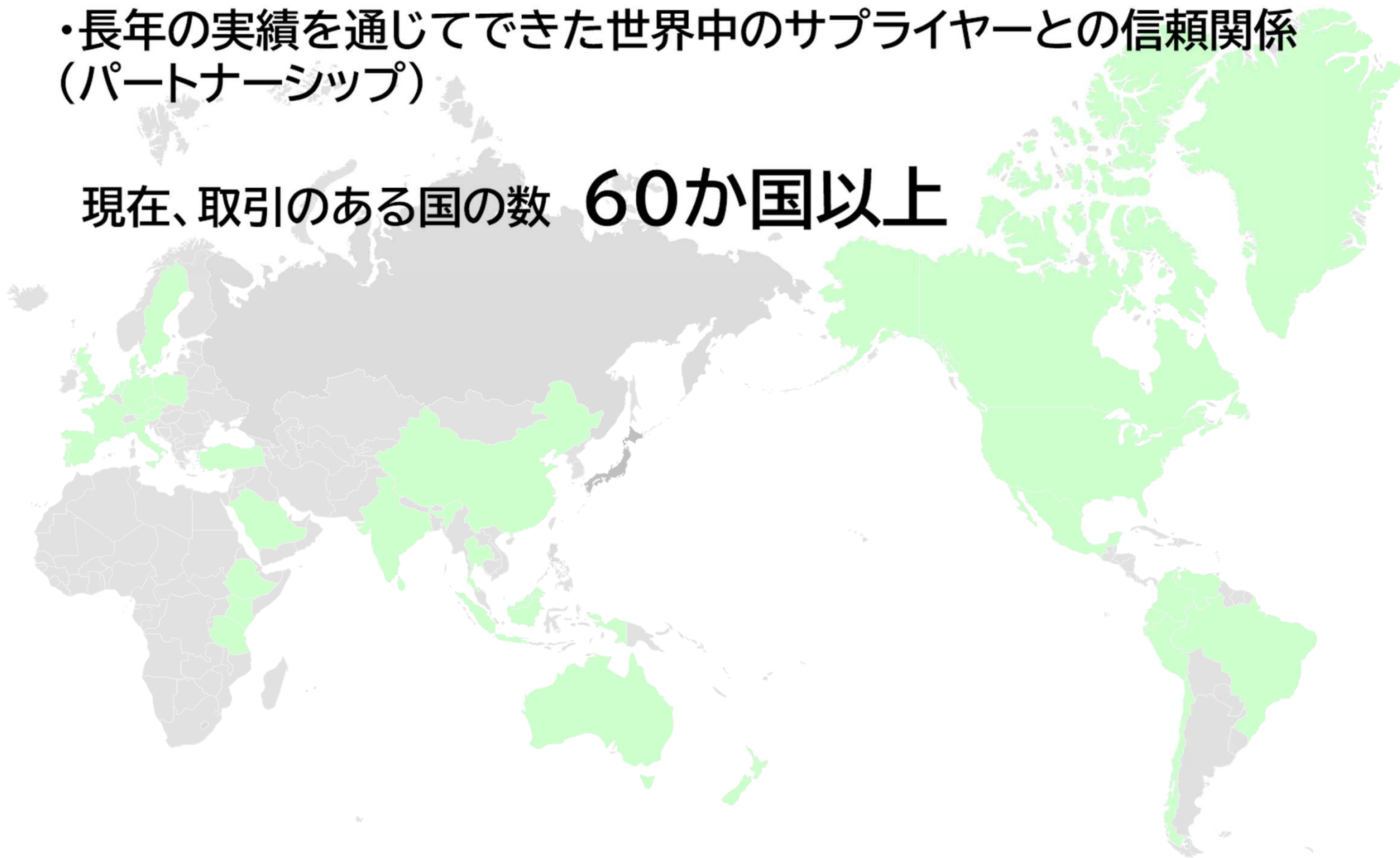
農産事業…生鮮野菜(たまねぎ、ごぼう、ニンジンなど)、
農産加工品(水煮タケノコ、水煮蓮根など)

輸出事業…日本食の輸出(お菓子、調味料、お米など)





現在、取引のある国の数 **60か国以上**



当社グループの強み

SINCE  1906

- ・国内外のグループ会社を拠点にした広域な販売チャネル



・グループ会社が有する東西の焙煎工場機能

コーヒー焙煎量 国内3位の実績



ALLIED COFFEE ROASTERS

2025年実績(単位:トン)	
A社	50,500
B社	39,800
ACR	18,462
C社	18,400
D社	18,200
E社	17,987
F社	8,500
G社	6,950
H社	6,200
I社	5,900
J社	2,750
K社	1,800
L社	877

酒類食品統計月報
2026年3月号より抜粋

兵庫県小野市 2026年12月末 完成予定



小野新工場建設の狙い

- ・収益性が高く**環境に配慮した商品**の供給を実現
 - ・関西の基幹工場とすることにより**事業規模拡大**
 - ・最新設備の導入により、働く環境を整備し、**多様な人財が活躍できる職場**を目指す
- ✔ 脱炭素に向けた**グリーン焙煎**の取組強化

✔ グリーン焙煎とは？

コーヒーグラウンズ(抽出後のコーヒー粉)を乾燥させてペレット状の燃料に成型し、そのペレットを再び焙煎する持続可能な取り組みです。



コーヒーグラウンズを乾燥させる
*燃料は乾燥済みのコーヒーグラウンズを使用



乾燥したコーヒーグラウンズをコーヒーペレットとして燃料化し成型する



コーヒーペレットを燃料にしてコーヒーを焙煎する



巡珈 - JUNCA JUNCA

01 乾燥

02 ペレット化

03 焙煎

- ・同業他社にはない専門性の高い人財による品質保証体制と高い技術力

J.C.Q.A.認定 コーヒー鑑定士

認定者数全60名*中**10名**が当社グループ社員

*J.C.Q.A.(全日本コーヒー検定委員会)
公式サイトより(2026年6月時点)

管理栄養士を含む

食品・品質管理関連 資格保有者 **多数**



I

会社概要

II

中期経営計画SHINE2027について

III

株主還元について

中期経営計画「SHINE2027」について

S	Sustainable	(持続可能な)
H	Happiness	(世界の食の幸せに貢献します)
I	INnovative	(革新的な)
N		
E	Engagement	(エンゲージメントの向上を)

石**光**商事の社名より「**光**」
今後のコーヒー、食品業界で**光り輝く**存在になる
社員1人ひとりが**輝いて**仕事を行う

2030年を見据えた3つの中期経営計画



強固な収益基盤の構築 環境・社会の課題解決に貢献する事業の育成

グローバル展開の加速

- ・三国間貿易の拡大
- ・輸出ビジネスの強化
- ・海外グループ会社との協働

高利益率商品へのシフト

- ・商品ポートフォリオの見直し

DXの推進

- ・間接費管理の可視化、省人化推進

GHG排出削減を踏まえた商品力強化

- ・GHG排出低減コーヒー原料の開発及びグリーン焙煎の推進
- ・循環型商品の開発

社会課題解決型商品の拡大

- ・社会課題解決型商品の販売割合の向上

SHINE2024で構築したビジネスの土台

基本戦略 バリューチェーンを提案する

社会課題解決型商品の販売推進

- ✓ 社会に良い効果を与え、人に幸せを届ける商品やサービスの提案
- ・「巡珈/じゅんか」
- ・グリーンロードプロジェクト
- ・環境配慮型の包材、資材使用



植林による砂漠の緑化
(グリーンロードプロジェクト)

GHG排出削減

- ✓ フードロスや廃棄の削減
- ✓ 中国産たまねぎの滴灌栽培によるGHG排出量削減の実証実験
- ✓ コーヒーや紅茶栽培におけるGHG排出低減原料の販売推進



紅茶の生産地にて
GHG排出削減について検討

海外売上高比率UP

- ✓ 国産農産物の輸出
- ✓ 三国間貿易の推進
- ✓ 英国市場を中心とした欧米における事業拡大
- ✓ 嗜好品飲料原料の販売推進



英国における関連会社の水産加工場

ビジネスモデルの変革と実践

社会課題解決型商品の販売割合

2026年3月期

2028年3月期

10.1 % ▶ 20.0 %

GHG排出削減(2022年3月期対比) - Scope3 -

2026年3月期

2028年3月期

8.5 %削減 ▶ 10.0 %削減

高利益率商品へのシフト - 売上総利益率 -

2026年3月期

2028年3月期

13.1 % ▶ 13.5 %

海外売上高比率

2026年3月期

2028年3月期

19.6 % ▶ 25.0 %

- 環境負荷低減に向けた取組 -

- 循環型商品の開発 -

紙パック中アルミ箔
使用を止め、植物由
来のポリラミネート
包装へ変更



野菜残渣を
原料とした
堆肥で栽培した
玉ねぎ



ガバナンスの変革と実践

女性役員比率の向上

2025年3月期

11.1 %



2026年3月期

30.0 %



スキルマトリクスの見直し

- ・取締役のみならず、監査役も開示

取締役会の実効性評価

- ・取締役会全体の実効性に関する分析・評価の継続的な実施

指名・報酬委員会の設置

- ・ガバナンスの透明性と公正性確保
- ・構成員の過半数が社外取締役

リスク管理の強化

- ・昨今の状況に合わせたBCPの強化
- ・サステナビリティ委員会の運営強化

エンゲージメントの向上に向けた変革と実践

未来共創フォーラムの開催

- ・中期経営計画の全社員への浸透
- ・個々が主体的に取り組む環境作り



対話型セッションの開始

- ・グループ横断で組織変革に取り組む



▶▶株主還元策の強化



配当方針の変更に関するお知らせ

2026年3月期期末配当から連結配当性向を従来の25%から**30%**へ変更しました。

[URL](#)

株主優待制度の一部変更に関するお知らせ

株主優待の対象株数を500株以上から**300株以上**に引き下げました。

[URL](#)

▶▶主なトピックス

2025年
6月

南インド産紅茶 温室効果ガス削減農業プロジェクトの合意に関して
兵庫県環境にやさしい事業者賞を受賞



[URL](#)

[URL](#)

2025年
11月

アライドコーヒーロースターズ株式会社ECサイト開設及び「巡珈」発売
中国甘肅省にて植林活動「グリーンロードプロジェクト」を開始



[URL](#)

[URL](#)

2026年
3月

穴水町かきまつり ボラまち喫茶にてコーヒーの提供を行いました
「健康経営優良法人認定2026」取得
「ウッディミナミの森」にて森開きを開催



[URL](#)

[URL](#)

[URL](#)

SHINE2027(2028年3月期) 目標とする指標

SINCE  1906

売上高

2026年3月期 実績 2028年3月期 計画
76,527 百万円 ▶ **82,830** 百万円

親会社株主に帰属する当期純利益

2026年3月期 実績 2028年3月期 計画
1,267 百万円 ▶ **1,739** 百万円

ROE

2026年3月期 実績 2028年3月期 計画
9.9 % ▶ **10** % 以上

PBR

2026年3月期 実績 2028年3月期 計画
0.7 倍 ▶ **1.0** 倍 以上

営業利益

2026年3月期 実績 2028年3月期 計画
2,707 百万円 ▶ **3,000** 百万円

営業利益率
3.54 % ▶ **3.62** %

ROIC

2026年3月期 実績 2028年3月期 計画
7.6 % ▶ **6** % 以上

ポイント

*目標とする指標につきましては、
5月14日に修正開示をおこなっております。

✓ 社会課題解決型商品の販売拡大

高利益率商品へのシフト

海外売上高比率のアップ

上記3点を基本戦略として注力していきます。

2027年3月期第1四半期実績

SINCE



1906

売上高

2026年3月期
第1四半期 実績2027年3月期
第1四半期 実績

18,343 百万円

18,635 百万円
(+291百万円増 +1.6%増)

営業利益

2026年3月期
第1四半期 実績2027年3月期
第1四半期 実績

790 百万円

822 百万円
(+32百万円増 +4.1%増)

親会社株主に帰属する四半期純利益

2026年3月期
第1四半期 実績2027年3月期
第1四半期 実績

375 百万円

813 百万円
(+437百万円増 +16.6%増)

ポイント

- ✓ コーヒー生豆の販売が好調に推移
- ✓ 食品において高利益率商品へのシフトが進む
- ✓ 子会社の所有する土地の売却益7.6億円を特別利益に計上

2027年3月期の連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
第2四半期(累計)	37,569百万円	1,082百万円	947百万円	965百万円
通期	78,072百万円	2,434百万円	2,159百万円	1,733百万円

I 会社概要

II 中期経営計画SHINE2027について

III 株主還元について

株主優待制度

- ・株式保有数に応じて当社の取扱商品を贈呈。(毎年7月上旬頃)

優待商品	300株以上 1,000株未満	1,000株以上
	2,000円相当 の当社取扱商品	4,000円相当 の当社取扱商品



- ・長期保有株主優待(毎年11月下旬頃)

300株以上かつ3年以上継続して保有いただいている株主様が対象
2,000円相当の当社取扱商品を贈呈。

1株当たり配当金の推移

2027年3月期より**中間配当の実施**

連結配当性向30%を目安に**安定かつ持続的**な配当を行う

連結配当性向 30%

55円

(記念配当5円含む)

45円

連結での配当性向 25%

30円 30円

24円

単体での配当性向 30%

14円

10円

10円

20円

2020年
3月期

2021年
3月期

2022年
3月期

2023年
3月期

2024年
3月期

2025年
3月期

2026年
3月期

2027年
3月期(計画)



SINCE  1906



石光商貿(上海)有限公司
S.ISHIMITSU & CO. (SHANGHAI) LTD.



US FOODS



ALLIED COFFEE
ROASTERS

石光商事グループ



A Toshi Ishimitsu Beverages



THAI ISHIMITSU CO.,LTD.

経営理念

ともに考え、ともに働き、ともに栄えよう

ミッション

世界の食の幸せに貢献します



ありたい姿

2030年

日本で
いい食品企業だと
認められている

2040年

海外拠点含め
いい食品企業だと
認められている

2050年

世界で
いい食品企業だと
認められている

参考:株価の推移



本日はありがとうございました。
今後とも、ご支援・ご理解を賜りますよう
宜しくお願い申し上げます。



URL:<https://www.ishimitsu.co.jp/> MAIL:ir@ishimitsu.co.jp

《本資料に関する注意事項》

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。

本資料は現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

いかなる理由によっても、当社に許可なく資料を複製・配布することを禁じます。